



## 平成17年度事業計画、決る [総会]

平成17年度の総会が4月24日に行われ、本年度の事業計画が決定されました。総会は、中田会長の挨拶に引き続き、来賓として市の越沼企画財政部長から「野田市在住の外国人が市民と上手に関わり合いをもてるような住みやすい街であってほしい。そのための協会の活動に大いに期待します」とのお言葉をいただき、次いで議長に山本武夫氏を選んで、議事に入りました。

議題として

- ① 平成16年度 事業報告
- ② 平成16年度 決算報告
- ③ 平成17年度 事業計画
- ④ 平成17年度 予算案

が審議され、原案通り承認されました。



# 平成 17 年度のスタートにあたって

会長 中田 秀雄



グローバル化 (Globalization) や想像以上の速度で浸透する情報化技術 (IT) の中で、2001 年 9 月 11 日の米国に於ける同時多発テロを転機に世界の社会構造の大きな変化が表面化しています。中でも欧州通貨統一、米国のハイウエイの様変わり象徴している世界の中での米国の巨大化、新興発展途上国の台頭、生産手段や輸送方法の近代化による産業構造の変化、中近東や東欧諸国の宗教や民主化に伴う紛争等々目を離すことのできないことが相次いでいます。そして日本における国際交流活動もこのような経済・社会構造の変化により、影響を受けて来ています。

千葉県でもここ数年来の大幅予算削減により国際交流の政策が見直され一つの曲がり角に来て、我々の活動にも影響しつつあります。

我々の協会としては草の根運動を堅持する国際交流活動の基本は不変のものですが、どのような変化にでも対応できる様に、又グローバル化するこれからの国際交流活動には活き活きたダイナミックな協会運営、インターネットを駆使した情報の伝達、そのための人材発掘等も不可欠でありましょう。

施策としては、創立 10 周年を視野に入れ、将来あるべき目標を定め長期計画を立て、又協会運営の基本である会則の見直しを進めたく思います。そして若手や外国人会員の協会運営への参画を目ざした人材発掘に努力し、他の団体等と共働しながら、地域に密着したまちづくりに貢献したく思います。

皆様のご支援とご協力を得て、野田市国際交流協会も創立 8 年目を迎え、数年前の協会活動の停滞期を脱して 2 年前頃から回復基調に向かいつつあります。この機会に応じて、真のボランティア精神に基づいて世界の人々と共に広い視野に立って皆様の知識を生かして、生涯学習の一つとして楽しく、又仲間を集い幅広く国際交流活動ができる様にしたいと思いますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い致します。

総務部長 東原 聖二

友好交流部長 大脇 利清

総務部の主な仕事は広報活動です。

本年も昨年と同じような活動を継続しながら、さらに内容の充実をはかっていきたいと思ひます。

- ① 機関紙 (ファンファーレ・ミニ通信)



記事内容が、行事案内と行事報告で占められていますので、もっとバラエティをつけたいものです。

それには、皆さんからの積極的な寄稿 (主張、雑感、紀行文、詩、俳句、川柳、マンガ、特技紹介などなんでも可) が是非必要です。

発行回数は、ファンファーレを 3 回/年、ミニ通信は偶数月で 6 回/年とします。

- ② ホームページ

日本語記述部分はそうとう充実してきましたので、今年は、英文記述部分を再チェックし、充実させる予定です。

また、誰でも自由に意見を書き込める「掲示板」をホームページの中に設置しようと考えています。

- ③ 写真展

今年は是非とも関宿地域で展示したく、他団体の行事に参加させてもらってでも、実現させようと考えています。

この度、私は友好交流部の部長を新しく担当することになりました。皆様のご協力をいただきながら、この一年を勤めたいと思ひます。



世界では、国境の意味が薄れたり変わった

りしています。どこの国でも、町では世界各国の商品が売られています。そして町にはいろいろな国から来た人達が一緒に住んでいます。その町ではいろいろな言葉が話されています。

野田市にも大勢の外国人が登録されています。私達会員は、野田市に住んでいる外国人を支援し、野田市民が外国で働くことを考えて活動してきました。

昨年度、友好交流部では文化交流活動をいたしました。その一つは外国人による講演です。外国人を講師にお招きして、お国柄などをお話してもらい、文化の違いを市民の皆様へ直接聞いていただきました。

また、国際理解教育へ参加させていただき、小学校の児童達にいろいろな国の人たちに接してもらいました。この児童達が、将来世界に羽ばたく時に少しでも協会活動が役に立てばと願っています。さらには、外国人に、日本の家庭生活を体験していただく活動もしました。県内に住むいろいろな国の若者達にホームステイをしてもらいました。この若者達もきっと良い思い出を胸に世界で活躍してくれるでしょう。ホストファミリーになって下さった皆様へ紙面を借りて感

謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度も、友好交流部は、市民と外国人とがお互いに理解しあって仲良く暮らしてゆける町づくりに微力を尽したいと考えています。

皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

イベント部長 山本 武夫

イベント部は、当協会会員と外国人市民そして野田市民の皆様の交流の場づくりを基本理念として活動して行きます。

外国人には日本文化を、日本人には諸

外国の文化に接し、体験し相互に理解を深めていただきたいと考えています。

そのために色々なイベントを開催し、その機会を増やして生きたいと思います。

6月にはバスハイクを行い、外国人及び市民の皆様に、古き日本文化に接してもらえよう部員一同アイデアをしぼっています。

7月は日本人に外国料理教室を開催して、外国の食文化を体験して、その日の料理レシピを各家庭に持ち帰って、ご自宅で再び作っていただき、家族の皆様にも外国料理を食してもらえれば大変ありがたいと考えています。

7月末には外国人のために着物文化の一部である浴衣の着付けと「野田躍り七夕」に参加する準備の踊の練習会を行う予定です。

10月には当協会のメインイベントで名称は未定ですが、ワールドフェスティバルを実行委員会方式で開催する予定です。

大勢の日本人と外国人が一体となり楽しい一日を過ごしていただく行事も考えています。

12月は年末恒例行事である、お正月の前に行うおもちつき大会を今年も開催する予定です。

本年度は当協会会員の外国出身会員のリクエストに応えるべく、新しい行事も考えていますので、ご期待下さい。



語学学習部長 松村 芳郎

語学学習部は、平成17年度も、外国人の皆さんが日本語を習得するための支援を柱に、日本人市民の皆さんにも、外国語に触れる事を通して



国際感覚を磨いて頂く機会を創出する、そんな存在であり続けてまいります。毎週2回の外国人市民向け日本語教室は、従来通り継続して開講し、日曜日は主として働いておられる学習者、月曜日は子育て中の主婦の方々を主とした学習者の皆さんが熱心に勉強し、担当している日本語教育ボランティアと楽しく、有意義な時間を過ごして頂きます。今年度は特に、日本語の習得だけに留まらず、言葉の学習を通して日本の文化、生活習慣やきまり等に具体的に触れ、理解を深めて貰うことに意を用いることとします。その為には、ボランティアスタッフ側も研鑽に努める必要があります。日本語指導の技術面はもとより、日本の歴史や、政治経済、社会常識からスポーツに至るまで広範な知識が必要になります。従って、スタッフの皆さんにも種々の研修を受ける機会を増やし、外国人の皆さんに教えることで、自らも得るところのある形が実現できるように、工夫をして臨む事に致します。

一方、昨年秋に開講した協会唯一の外国語教室である韓国語講座は、入門コースが好評のうちに修了、殆どの皆さんが継続して初級コースに進みました。従って、今年度は5月に新規募集して開講した、土曜日開講の新入門コースとが併行実施されています。他の言語教室開催については、野田市と関りが深い、即ち、居住している外国人市民が使用している率が高い言語の順に検討すべきであろうと考えております。但し、東葛地区他協会が開講している、熟年世代のためのトラベル英会話については、昨今この種旅行者が増加していること、全くの初歩となるため、必ずしも外国人講師を必要としないことから、実現を検討することが必要かと考えております。

語学学習部は、今年度も、日本人市民と、外国人市民の皆さんとを結ぶ絆になれるよう、地道な努力を継続してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

## ＊ ＊ 平成 17 年度の新体制 ＊ ＊

### 役員

会 長	中田 秀雄
副 会 長	小川 好江、松村 芳郎
事務局 長	東原 聖二
会 計	安広美和子
書 記	桑原 時夫、下川原澄子
監 事	高木 次雄、柳沢 浩

### 専門部

部	部長	副部長
総 務 部	東原 聖二	村田 三枝
友好交流部	大脇 利清	阿島 俊一、小川 好江
イベント部	山本 武夫	酒井 幸子、間中美代子
語学学習部	松村 芳郎	大塚三保子、下川原澄子、根本 正宣

# \*\*\* エディット・バウア・川井さんの講演 \*\*\*

副会長 小川 好江

4月24日の総会のあと、エディット・バウア・川井さんが「スイスと日本の大きな違いと小さな違い」について流暢な日本語で話しをして下さいました。エディットさんは1986年にスイスのチューリッヒから日本にきました。彼女は、家庭の主婦で小学校に通う二人のお嬢さんがいます。



彼女は日本と比較して、その違いを色々と話してくれました。その内容は、言語(多言語)、政治、国防、経済(精密機械・食品・銀行・保険・労働時間・休暇・職業訓練・年金)、環境(景観保護、省エネ)、宗教などなど多岐にわたりました。

中でも、スイスという小さな国の独立を守ってきた過程で培われた「全国民がこぞって意見を述べ、議論をしよう。だまっていることはいけないこと」という気質がスイス国民に完全に根づいているとのお話しは、印象深いものでした。

この講演の感想文が一般参加者の亀崎さんからよせられましたので紹介します。

## ☆ 亀崎敬子さん(一般参加・主婦)の感想

今日の国際交流の野田支部の講演会は、とても楽しく、久しぶりにメモを取ったりしていろいろと勉強することができました。

最初は、行こうかどうか迷っていましたが、やはり行って良かったです。スイスのことをあまり知らず、永世中立国であることや時計や精密機械のことなど主だったことしか知らなかったですけれど、今日の講演で生活面のことや考えなど身近な事について参考になりました。

国民性の違いもありますが、自立の事や一人ひとりが言いたい事をいえることは、今の日本では中々難しいことですが、子供たちが良くない事をしているのに見て見ぬふりをしてはいけないと思うし、スイスのようにはっきりと言える世の中にしていかないと日本もだめになってしまうと先行きが不安になります。1時間では語りきれない所もたくさんあると思うけれど、とても身近な国として感じられました。

日本語も上手で、素晴らしい人が講演してくれて、手話がついていたし、- - -もっとたくさんの人にも聴いてもらいたかったです。誘っていただいてありがとうございました。



◆ 協会案内 ◆ 私たちといっしょに国際交流しましょう。 どなたでも気軽に参加できます。お待ちしております。

【年会費】個人会員 2,000 円 家族会員 3,000 円(家族何人でも) 賛助会員(1口) 10,000 円 学生会員 1,000 円  
野田市国際交流協会 〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1 野田市役所 企画調整課内  
TEL: 04-7123-1065 FAX: 04-7122-1557 URL: <http://www.nianoda.com>